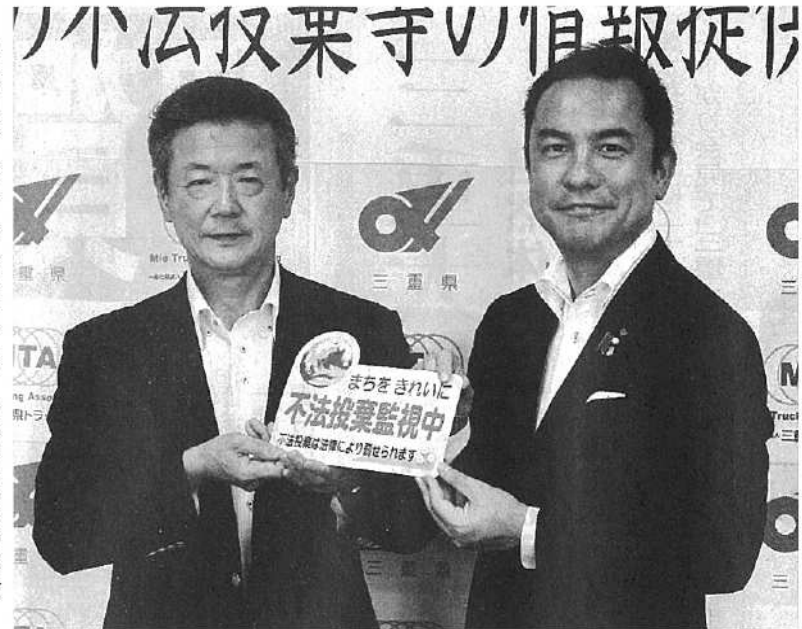


不法投棄に監視の目

県トラック協会、県と協定

県は二十日、不法投棄を早期に発見して是正するため、県トラック協会と協定を結んだ。協会のドライバー

バーから道路に捨てられた廃棄物や不法に投棄した人物に関する情報提供を受ける。



鈴木知事（右）からステッカーを受け取る小林会長
長井県庁で

県は、不法投棄の早期発見や未然防止を目的に、平成十六年度から県内の事業者と協定を結んでいる。県トラック協会で二十事業者目。電話やFAXなどで情報提供を求める。前年度は四件の通報があった。

県庁で協定締結式があり、鈴木英敏知事と県トラック協会の小林俊二会長が協定書に署名。鈴木知事がトラックに貼り付けてもらおうと「不法投棄監視中」と書かれたステッカーを小林会長に手渡した。

鈴木知事は「県内で不法投棄が後を絶たない。県トラック協会の協力で抑止力が向上し、多くの目で監視できる」と期待感を示した。小林会長は「微力ながら不法投棄の未然防止に取り組みたい」と述べた。

県トラック協会は、約千社、二万台のトラックが会

員。今後、会員ドライバーに周知し、ステッカーを配布する。トラック協会と行政が不法投棄防止で協力した事例としては、奈良県や埼玉県などがある。